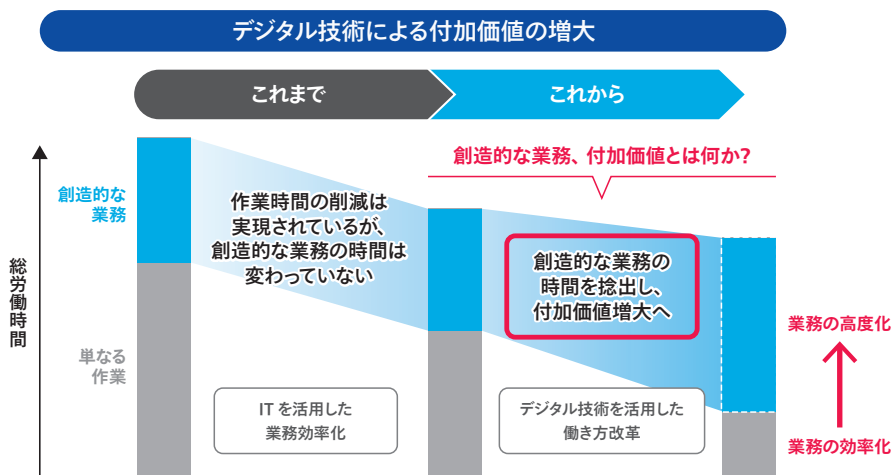


Digital Finance 構想支援

Digitalizationを通じたCFO組織の付加価値増大により企業価値最大化へ

デジタル化が叫ばれて久しい今、様々なビジネスや業務がデジタル化され、新サービスの提供、業務改革、働き方改革が始まっています。この動向は財務・経理領域に関しても例外ではなく、多くの企業がデジタル技術の活用を推進していますが、実態としてはコスト削減を中心とした業務効率化にとどまり、財務・経理部門の付加価値増大には至っておりません。一方、アビームコンサルティングの提供するDigital Finance構想支援は、企業の競争優位性を左右する経営課題解決への糸口をデータから導き出すDigitalizationを通じた財務・経理業務の変革によって、企業価値最大化を支援します。

「デジタル時代のCFO組織」のあり方



デジタル時代にCFO組織がCEOの参謀として機能するためには、財務情報を扱うのみではなく、より経営に有用となる情報を提供していく必要があります。CFO組織が必要としているのは、業務効率化のみを目的とした働き方改革ではなく、企業価値最大化に奏功するCFO組織の付加価値拡大です。デジタル時代のCFO組織は、ベースとなる経理スキルを活かしつつ財務情報と非財務情報を分析し、明確な根拠にもとづく事業予測や投資への判断材料提供や新たな指標設定により、経営課題解決を牽引する創造的業務を担う必要があります。

データに裏打ちされた改革構想

アビームはCFO組織の付加価値増大を実現する改革を推進するためにデータに裏打ちされたDigitalization構想を支援します。データから改革ポイントを抽出・特定し、ファクトに基づく具体的なアクションプランを策定します。また、デジタル化による効率化だけでなく、付加価値を増大させる業務についてもデータから構想します。



生産性向上

既存業務の何をやめるべきか、改善すべきかをデータから抽出し、業務改革のポイントを特定します。



付加価値増大

既存データから新たにどのようなデータの活用が可能なかを導き出し、新たな経理部門の付加価値業務を特定します。



確実な効果を生み出す改革施策

データ分析結果を基に『CFO組織としての付加価値増大』に向けた取り組み対象と実現方法を検討します。ファクトに基づく改革は、改革前の状態との比較が可能であることから、改革後の効果を測定するKPIも明確に設定できます。アビームは共に改革を実現するだけでなく、改革後のデータ再分析により効果の可視化も支援します。



非財務データを財務データと共に分析し、検出された相関関係を共有し因果関係を導出。生産性向上、付加価値増大のためにデジタル化の手を打つべき業務・データを検討・特定する。

特定された改革ポイントに対して、実行可能かつ効率的なアクションプランを策定する。

データに基づき改革前後の状態を具体的に比較・評価。ファクトベースで効果を測定・把握する。

Digital Finance人材の養成

改革を実現すると新たなデータが生まれ、それを活用した新たな改革構想が実現可能です。データ分析や、改革ポイントの抽出・設定、実行計画策定など改革サイクルの各局面で、CFO組織のメンバーにアビームのコンサルタントからDigitalization後に必要となる知識やスキルを直接伝達することで、プロジェクトを通じて貴社内のDigital Finance人材を養成します。

